

ノ臟器ニ纖維ヲ送附ス迷走神經ヲ刺戟スレハ脈遲緩トナリ其麻痺スルキハ脈ハ頻數トナリテ呼吸ハ遲緩トナル

(十一)副神經ハ胸鎖乳頭筋及僧帽筋ニ分佈ス

(十二)舌下神經ハ舌ノ運動神經(頤舌筋、舌骨舌筋、莖狀舌筋、舌筋、頤舌骨筋、肩胛舌骨筋、胸骨舌骨筋、舌骨甲状筋及胸骨甲状筋)ニシテ其麻痺スルキハ舌ハ患側部ニ偏傾スルモノナリ

### 脊髓神經

(一)頸神經叢(第一乃至第四頸神經)ハ知覺纖維ヲ以テ耳後ノ后頭、頸及肩胛部ヲ司リ其運動ヲ以テ深部ノ頸筋及不齊筋ニ分佈ス而シテ第四頸神經ヨリ横隔膜神經即横隔膜ノ運動神經分佈スル者ナリ

(二)膊神經叢(第五乃至第八頸神經及第一第二胸神經)ノ一定部ニ損傷ヲ生スルキハ三角筋、二頭筋、内膊筋、長廻後筋、棘下筋(エルブ氏麻痺)ノ運動麻痺ヲ生スル

前胸廓神經……………大及小胸筋  
長胸廓神經……………前大鋸筋  
肩胛背側神經……………莖狀筋、肩胛骨筋、後上鋸筋

上肩胛神經……………棘上筋及棘下筋

下肩胛神經……………肩胛下筋、大圓筋、潤背筋

腋窩神經……………三角筋、小圓筋、其知覺纖維ハ上膊外側ノ皮膚ニ分佈ス

中及内皮神經……………上膊内側及前膊尺骨側ノ皮膚

筋皮神經……………二頭筋、烏喙膊筋、内膊筋及前膊撓骨側ノ皮膚

正中神經……………撓腕屈筋、廻前圓筋、及廻前方筋、深及淺総指屈筋、長掌筋、長及短拇指屈筋、外轉拇筋、對小指拇筋、拇指ヨリ第四指ノ中央ニ至ル半掌ノ皮膚、

第二第三指ノ第三節ノ背面

麻痺スルキハ手腕ノ内轉及屈曲ハ殆ント全ク欠亡シ拇指ノ屈曲、内轉且ツ指

ノ第二第三節ノ屈曲モ亦タナシ能ハスト雖モ其第一節ハ骨間筋ノ作用ニ由

テ屈曲サルモノナリ第三乃至第五指ノ深屈筋ハ其一分尺骨神經ノ分佈ス

ルヲ以テ患者ハ尙ホ此三指ヲ以テ物ヲ握取スルヲ得可シ

尺骨神經……………尺腕屈筋、深屈指筋(第三乃至第五指)小指ノ諸筋、骨間筋、蟲樣筋、

拇指内轉筋、手ノ尺骨側ノ皮膚即チ掌面ニ於テハ第四指ノ中央ニ至ルマテ

背面ニ在テハ第三指ノ中央ニ至ル

麻痺ニハ手腕ヲ屈曲或ハ尺骨側ニ運動スルヲ能ハス且ツ第三乃至第五指ノ屈曲ヲ障害ス小指ノ運動欠亡シ且ツ第二乃至第五指ニ在テハ第一節ハ屈曲セテ第三節ハ伸展セテ而シテ其佗指ヲ閉閉スルヲ能ハス麻痺ノ特長スルキハ所謂熊手トナル即チ第一節ハ背面ニ第三節ハ掌面ニ屈曲ス且ツ骨間筋萎縮ス

撓骨神經……：腕、手及指ノ伸筋即チ三頭筋、長及短翅後筋及前腕后側ノ諸筋即チ長及短撓腕伸筋、尺腕伸筋、総指伸筋、固有示指及小指伸筋、長及短拇指伸筋、長拇指外轉筋其他上腕及前腕后側ノ皮膚、拇指ノ背面及第三指ノ中央ニ至ル皮膚ニ分布ス

麻痺スレハ弛緩下垂セル手指ヲ伸展スルヲ能ハス且ツ拇指ヲ外轉或ハ伸展スルヲ能ハス已ニ伸展セル腕ハ外轉スル能ハス(腕ヲ屈曲スルキハ二頭筋ニ由テ前腕ヲ外轉ス)鉛中毒麻痺ニ同一ノ現象ヲ發スルモ長外轉筋ハ多ク之ヲ免ル腕神經ノ麻痺ニ知覺ノ障害ハ上記ノ部ニ於テスト雖モ顯著ナラサル者ナリ

(三)背部神經ハ胸及腹ノ皮膚及筋ニ分布ス

(四) 腰神經叢(第十二胸椎神經及第一乃至第四腰椎神經)ハ下腹部ノ皮膚大腿前側及下脚内側ノ皮膚其運動纖維ハ骨盤内ノ諸筋即チ股神經ハ方股筋縫匠筋耻骨筋ニ鎖閉神經ハ鎖閉筋大長短内轉股筋及薄股筋ニ分布ス

(五) 薦骨神經叢(第五腰椎神經及第一乃至第五薦骨神經)ハ膀胱直腸陰部會厭及腎部ニ其運動及知覺纖維ヲ分布ス

坐骨神經ハ大腿后側下脚外側及足蹠ノ皮膚并ニ二頭股筋半腱樣筋及半膜樣筋ニ分布スル者ニシテ大腿ノ中央ニ至リ脛骨神經及腓骨神經ニ分布ス而シテ脛骨神經ハ下脚后側ノ筋腓腸筋及足下側ノ筋ヲ司リ腓骨神經ハ下脚及足ノ前側諸筋ニ分布スルモノナリ

## 第十二 病的凝石ノ分析

### 尿石

尿石ヲ細粉末トナシ白金板或ハ陶器皿ヨリ上ニ以テ灼熱ス若シ悉ク燒失シ或ハ只々僅少ノ灰分ヲ殘スルハ尿石ハ有機体ヨリナルモノナリ

即チ尿酸、尿酸安母尼亞幾〔キサントン〕及〔チヌタン〕等是ナリ

尿酸ヲ檢スルニ「ムレキシード」試験ヲ以テス即チ其粉末少量ヲ陶器皿ニ入レ硝酸一二滴ニ浸シ漸次蒸發セシム尿酸存在スルキハ橙紅色ノ斑ヲ生シ之ニ安母尼亞幾ヲ加ユレハ紫色ヲ呈スル者ナリ尿酸石ハ多ク黃赤色ニシテ硬固ナリ

安母尼亞幾ヲ檢スルニハ粉末ニ稀鹽酸ヲ加ヘテ溶解セシメ且ツ濾過ス濾液ハ加里滷汁ヲ加エテ亞爾加里性トナシ試験管ニ入レテ温熱スルキハ安母尼亞幾ノ嗅氣ヲ放ツモノナリ而シテ<sup>カール</sup>姜黃紙ヲ濕シ試験管口ニ置クキハ蒸氣ニ由テ褐色トナル或ハ硝子桿ヲ鹽酸ニ浸シ以テ試験管口ニ來スキハ礫砂煙霧ヲ形成ス若シ尿酸ト安母尼亞幾ヲ証明シ得ルキハ凝石ハ尿酸安母尼亞幾ヨリナルモノニシテ多ク黃白色ヲ呈シ且ツ片碎シ易シ

「ムレキシード」試験ニ反應セサルキハ「キサントン」ヲ檢ス可シ即チ

粉末ヲ稀硝酸ニ溶解シ陶器皿ニ入レテ漸次ニ蒸發セシム以テ橙黃色ノ殘渣ヲ存シ之ニ安母尼亞幾ヲ加ユルモ變セヌシテ加里澗汁ヲ加エ赤黃色トナルトハ「キサソチン」ノ存在ナルモノナリ「キサソチン」石ハ多ク朱褐色ニシテ稍々硬固ナリ之ヲ摩擦スレハ蠟燭光輝ヲ有ス

「チヌチン」ヲ檢スルニハ粉末ニ安母尼亞幾ヲ加ヒ且ツ溫熱シテ溶解セシメ澱液ヲ自然蒸發セシムルトハ正シク六個ヲ有スル「キサソチン」ノ結晶板ヲ顯微鏡下ニ照覽ス可シ此凝石ハ多ク滑ニシテ又甚ク硬固ナラス

試驗ニ際シ凝石ハ全ク燒失セヌ只ダ黑色ヲ呈スルキハ無機体或ハ有機酸(尿酸或ハ尿酸)ト亞爾加里或亞爾加里土トノ抱合物ヨリナルモノナリ

凝石粉末ヲ試験管ニ入レ稀鹽酸ヲ加ヘテ沸騰ヲ生スルキハ炭酸存在ス粉末ニシテ溫熱スルモ全ク溶解セサル者ハ尿酸ノ殘渣ナリ(ムレ

キシード試験而シテ之ヲ濾過シ濾液ハ安母尼亞幾ヲ加エテ亞爾加里性トナシ又再ビ醋酸ヲ加ヘ弱酸性トナシ且ツ温熱スルモ溶解セサル白色粉末状ノ沈澱物ヲ生ス是レ**蓆酸石灰**ノ生スルモノナリ試験液ヲ濾過シ以テ濾液ニ**蓆酸安母尼亞**幾ヲ加ユレハ白色ノ沈澱ヲ生ス以テ石灰ノ存在ヲ証明シ得可シ又少シク之ヲ温メ且ツ濾過シテ**安母尼亞**幾ヲ加ヘ暫時靜置スル后ヲ沈澱物**磷酸安母尼亞**幾**麻偏涅矢亞**ヲ生スルキハ同時ニ**麻偏涅矢亞**及**磷酸**ノ存在ヲ証明シ得可シ若シ沈澱ヲ生セサルキハ液ヲ二分シ第一液ニ少シク**磷酸那篤倫**ヲ加ヘ第二液ニ**硫酸麻偏涅矢亞**ヲ加フ可シ而シテ第一液ニ沈澱ヲ生スルキハ**麻偏涅矢亞**ノ存在ヲ示シ第二液ニ沈澱ヲ生スルキハ**磷酸**ヲ証明ス**磷酸**ヲ檢スルニハ醋酸溶液中ニ醋酸「ウラン」ヲ加ユルキハ**磷酸**「ウラン」ノ黄白色沈澱物ヲ生ス

**硫酸**ヲ檢スルニハ鹽酸溶液ニ格魯兒拔留母ヲ加ユ可シ即チ**硫酸**拔

留母ノ白色沈澱物ヲ生ス

磷酸石灰ノ凝石ハ多クハ甚ク硬ク桑實狀ニシテ血色素ニ由リ暗色トナルモノナリ而シテ醋酸ニハ溶解セサルモ、鐵酸ニ逢ヘハ沸騰セシテ溶解ス其一部ヲ灼熱スレハ燃燒シテ炭酸石灰トナリ以テ酸ニ逢ヘハ沸騰スルモノナリ

磷酸石灰及磷酸安母尼亞幾麻侷涅失亞ノ凝石ハ多ク白色ニシテ軟カニ且ツ磨滅ス可シ

炭酸石灰ノ凝石ハ白色、白黒狀ニシテ酸ニ逢ヘハ沸騰スルモノナリ

### 腸凝石 (糞石)

腸ノ凝石ハ一部ハ種々ノ有機体一部ハ無機体ヨリナル即チ磷酸石灰、磷酸安母尼亞幾麻侷涅失亞、硫酸亞爾加里土等ナリ之ヲ鹽酸ニ溶解セシメ以テ尿石ト同一ノ試験ヲナス可シ

### 唾液石

唾液石ハ多クハ炭酸石灰ヨリナルモノナリ

鼻及口石

主トシ炭酸及磷酸石灰ヨリナル

胆石

胆石ハ主トシコレステアリン及ビリルビント石灰ノ抱合物ヨリナル  
 モノナリ「コレステアリン」ヲ証明スルニハ凝石粉末ヲ亞爾個保兒  
 ニ入レ且ツ温メテ溶解セシメ以テ濾過ス可シ濾液ノ寒冷スレハコレ  
 ステアリンノ菱狀板ヲ見ル又コレステアリンヲ嘔囉仿謨ニ溶解シ濃  
 厚硫酸ヲ加ユルキハ美麗ナル櫻紅色ヲ呈シ后チ青色及綠色ニ變スル  
 モノナリ「ビリルビン」ヲ証明スルニハ凝石ノ残渣ニ鹽酸ヲ加ヘテ  
 弱酸性トナシ且ツ嘔囉仿謨ヲ加エ温熱ス可シ而シテ其嘔囉仿謨ニ發煙  
 硝酸ヲ滴注スレハ「シメリン」氏反應ヲ呈スルモノナリ

實用診斷學 畢



大人ニ對スル藥物一日及一回ノ極量

藥品目

	一日ノ極量(瓦蘭謨)	一回ノ極量(瓦蘭謨)
(イ)印度大麻越幾斯篤拉屈篤	〇.四	〇.一
(ロ)魯別利亞	一.〇	〇.二
魯別利亞丁幾丟兒	五.〇	一.〇
(ハ)巴豆油	〇.一	〇.〇五
麥角	五.〇	一.〇
番木鱉丁幾丟兒	二.〇	一.〇
番木鱉越幾斯篤拉屈篤	〇.一五	〇.〇五
番木鱉	〇.二	〇.一
(*)抱水格魯刺爾	六.〇	三.〇
芳香阿片酒	五.〇	一.五

剌度比爾林	〇.五	〇.一
(~)別刺敦那葉	〇.六	〇.二
別刺敦那越幾斯篤拉屈篤	〇.二	〇.〇五
別刺敦那丁幾丟兒	四.〇	一.〇
(下)吐酒石	〇.五	〇.二
(リ)磷素	〇.〇〇五	〇.〇〇一
硫酸亞剌莫兒比涅	〇.〇五	〇.〇一
硫酸亞篤呂比涅	〇.〇〇三	〇.〇〇一
硫酸亞鉛	〇.三	〇.〇六
硫酸亞鉛 (催吐藥トシテ頓服スル量)	—	一.〇
硫化安知母紐謨	一.〇	〇.一
硫酸莫兒比涅	〇.一	〇.〇三
硫酸銅	〇.四	〇.一

硫酸銅 (催吐藥トシテ頓服スル量)	—	一〇
(オ)黄色酸化汞	〇・一	〇・〇三
黄色沃度化汞	〇・二	〇・〇五
(カ)錫答利斯	〇・一五	〇・〇五
錫答利斯丁幾丟兒	二五	〇・五
咖啡涅	〇・六	〇・二
加利拔兒豆越幾斯篤拉屈篤	〇・〇五	〇・〇二
(コ)熔製硝酸銀	〇・二	〇・〇三
沃度化砒素	〇・〇五	〇・〇二
沃度仿謨	一〇	〇・二
沃度化砒汞液	一五	〇・三
沃度	〇・二	〇・〇五
沃度丁幾丟兒	一〇	〇・二

(ア) 刺苦丟曷留謨	一〇	〇三
(ウ) 勃拉篤里涅	〇〇二	〇〇〇五
(ク) 苦扁桃水	八〇	二〇
(ヤ) 那僕蘭日	八〇	一五
納刺巴脂	三〇	一〇
(ケ) 結麗阿曹篤	〇五	〇一
(フ) 貌羅謨化樟腦	二〇	〇三
(ヨ) 古埤乙涅	〇二	〇〇五
古魯聖篤越幾斯篤拉屈篤	〇二	〇〇五
古魯聖篤丁幾丟兒	三〇	一〇
古魯聖篤非沃斯失亞謨斯丸	二〇	〇五
古爾失屈謨丁幾丟兒	六〇	二〇
古爾失屈謨酒	六〇	二〇

(エ) 鹽酸莫兒比涅	0.1	0.03
鹽酸必魯加兒必涅	0.06	0.03
(ア) 亞砒酸	0.02	0.005
亞砒酸加留謨液	2.0	0.5
阿片	0.5	0.15
阿片越幾斯篤拉屈篤	0.5	0.15
阿片丁幾丟兒	5.0	1.5
(サ) 撒里矢爾酸比蘇斯知伽密涅	0.003	0.001
珊瑚寧	0.3	0.1
醋酸鉛	0.5	0.1
(キ) 揮發苦扁桃油	0.2	0.05
(シ) 樟酸無留謨	1.5	0.3
實斐答利斯	1.0	0.1

實斐答利斯丁幾丟兒	五、〇	一、五
昇汞	〇、一	〇、〇三
硝酸斯篤里幾尼涅	〇、〇二	〇、〇一
硝酸銀	〇、二	〇、〇三
(ヒ)非沃斯失亞謨斯	一、五	〇、三
非沃斯失亞謨斯越幾斯篤拉屈篤	一、〇	〇、二
(セ)石炭酸	〇、五	〇、一
赤色酸化汞	〇、一	〇、〇三
赤色沃度化汞	〇、一	〇、〇三

此量ヲ超ヘテ處方スルハ醫師ハ其處方箋ノ藥名下ニ特ニ▽標  
ヲ記ス可ク

着色圖ノ解

(一)肺炎コックケン(フレンケル氏)接種セシ鼠ノ血液ヨリ取りシ者ニシテ乾燥アレバラート(二)ゲンチアナウイナレットヲ以テ着色セリ(フレンケル氏法)

(二)虎列羅ノコンマバナルレン(コッフ氏)培養セシ者ニシテフクシンヲ以テ着色セリ

(三)脾脱疽バナルレン(接種セシ鼠ノ血液ニシテエチジン及メチールブヲウ)ヲ以テ重複着色セシモノナリ

(四)再歸熱スピリルレン(再歸熱患者ノ血液ヨリ取りシ者ナリ)

(五)スタヒロコックス(ピチゲチス、アウレウス)培養セシ者ニシテフクシンノ着色ナリ

(六)丹毒ノスタヒロコックス(培養セシ者ニシテフクシン)着色ナリ

(七)結核バナルレン(肺勞患者ノ痰液ヨリ取りシ者ニシテエーホルヒ氏)

ノ法ニ從ヒ「フクシン」及「メチールプラウ」ヲ以テ着色セリ

(八) 癩「バチルレン」癩性天疱瘡ノ内容ニシテ「エーデルリヒ」氏着色法ヲ用ユ

(九) 馬疫「バチルレン」野鼠ノ血液ヨリ取りシ者ニシテ「デックグラス、アレバ

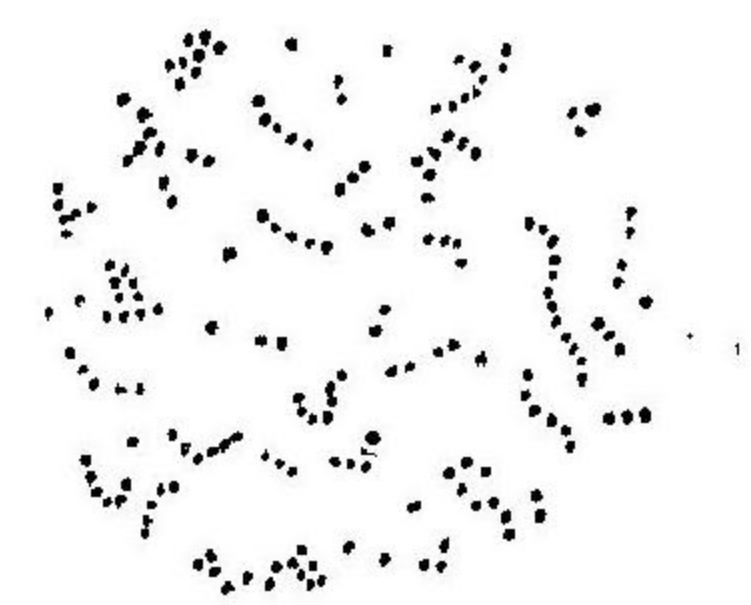
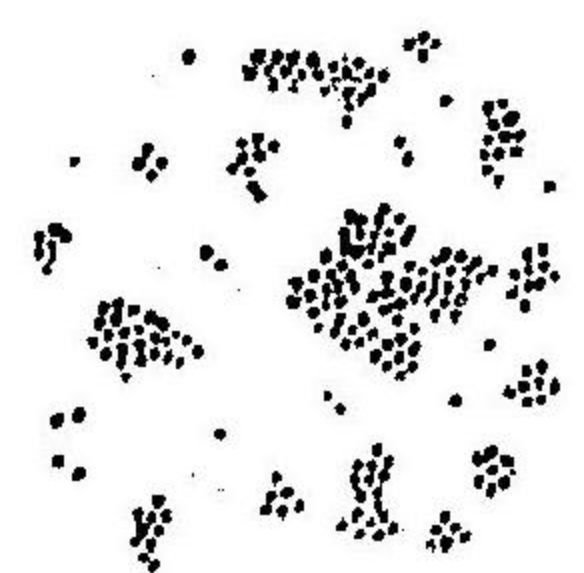
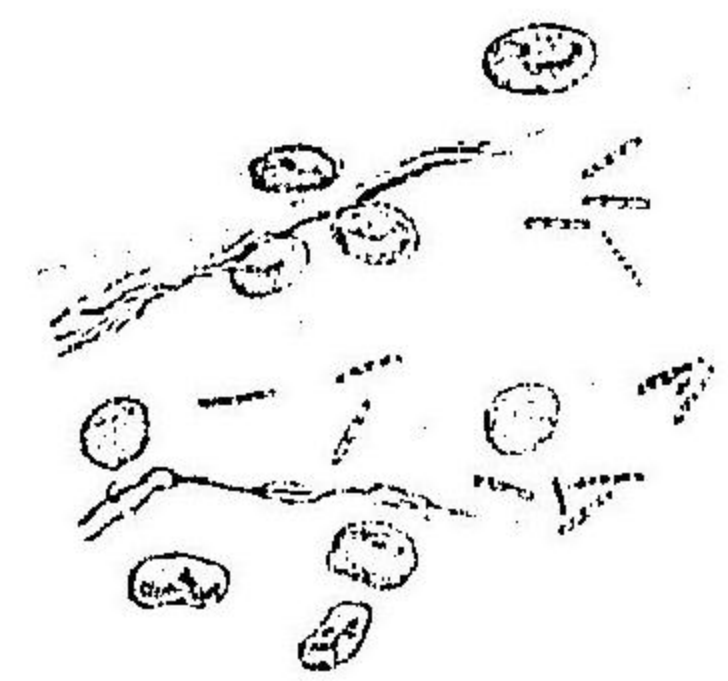
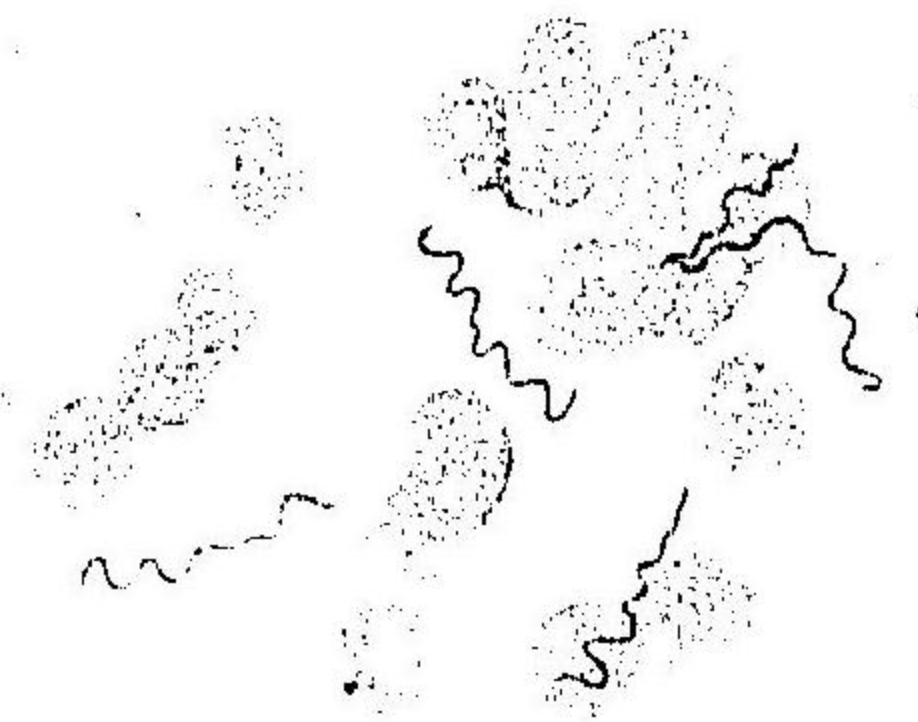
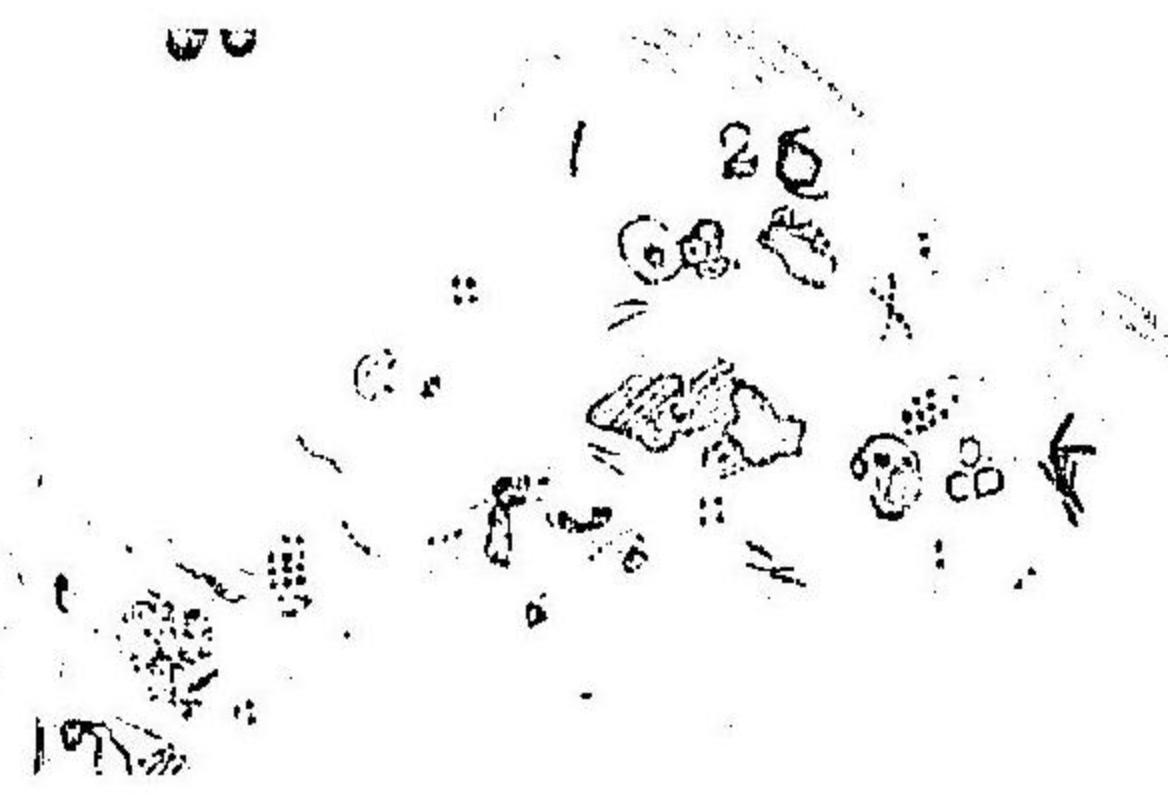
ラート」ハ「亞兒加里性メチールプラウ」溶液ヲ以テ着色セリ「バチルレ

ン」ハ其中央ニ着色セサル部ヲ示シ「微種様ノ觀ヲナス」リ「ヨフレル氏」法

(十) 淋膿ノ「ゴノコッケン」メチールプラウ」ヲ以テ着色セリ

(十一) 瘻扶斯「バチルレン」培養セシ者ニシテ「フクシン」ヲ以テ着色セリ





明治廿二年五月廿七日印刷  
全 廿二年五月三十日出版

正價金壹圓拾錢

纂譯者兼<sup>發行</sup>人

佐賀縣士族

聯

印刷人

岡本利三郎

版權

圖書彫刻人

松崎留吉

淺草區北清島町七十九番地

日本橋區馬喰町三丁目

島村利助

發兌

本鄉區壽木町三丁目

全支店

日本橋區通三丁目

丸善書店

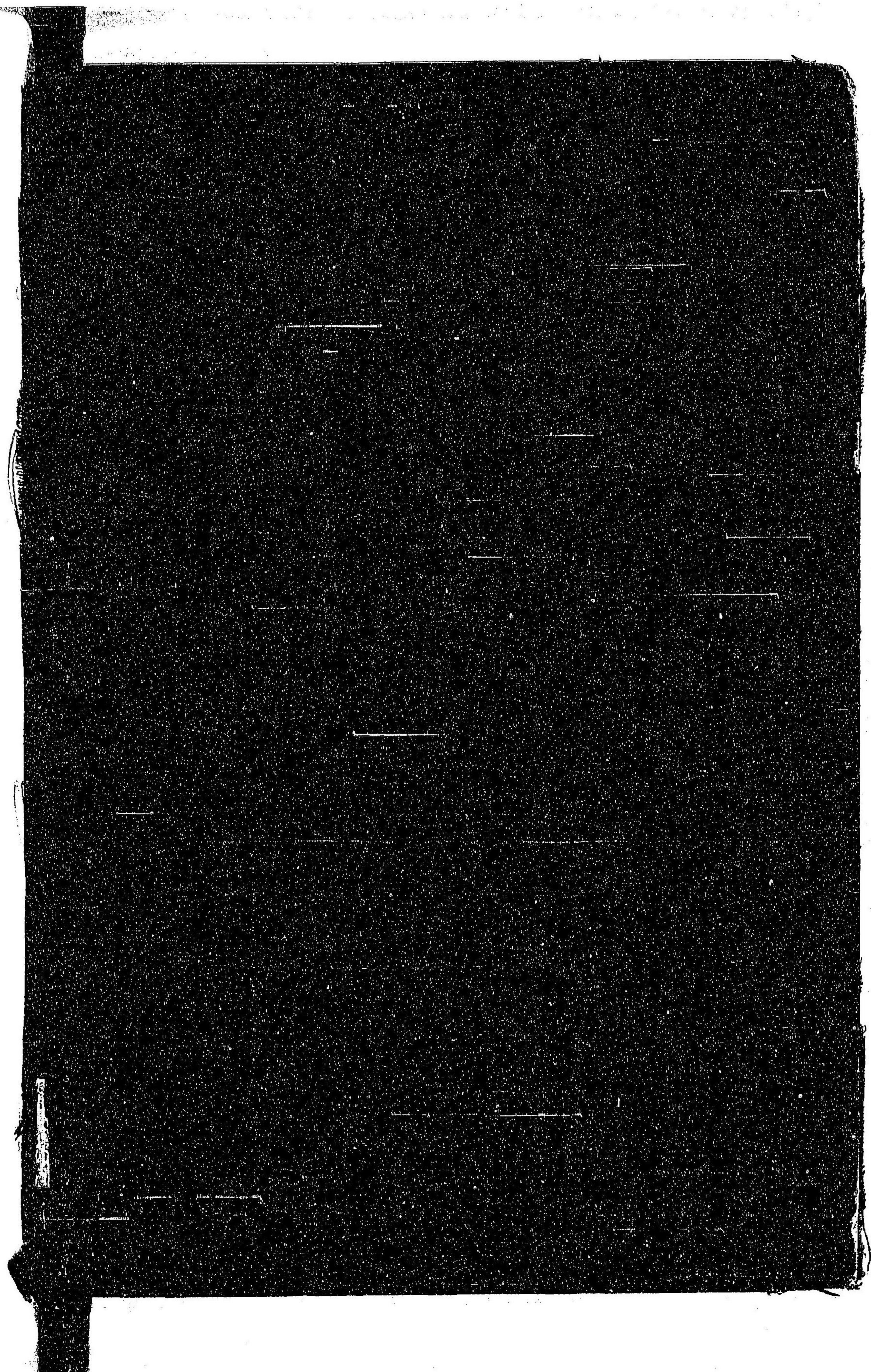
書肆

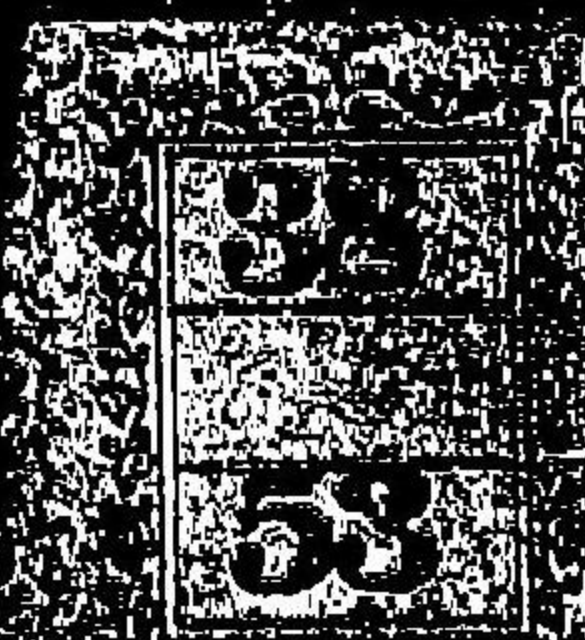
本鄉區湯島切通坂町

南江堂

全 湯島切通坂町

金原書店





M

058636-000-0

38-53

实用診断学

チット・ザイフェルト

フリードリヒ・ミュルレル/著

M22

CBC-0161

